

# 衆議院内閣委員会ニュース

平成 26.4.18 第 186 回国会第 14 号

4 月 18 日（金）、第 14 回の委員会が開かれました。

## 1 内閣の重要政策に関する件、栄典及び公式制度に関する件、男女共同参画社会の形成の促進に関する件、国民生活の安定及び向上に関する件及び警察に関する件

・菅内閣官房長官、古屋国務大臣、森国務大臣、稲田国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 近藤洋介君（民主）

- ・保険外併用療養費制度の見直しにおいては、規制改革会議で検討されている選択療養制度（仮称）が必要であると考えますが、健康・医療戦略本部の担当大臣である菅内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・法人税の実効税率の引下げの検討に際しては、社会保険料の負担軽減についても同様の検討を行う必要があると考えますが、菅内閣官房長官の見解を伺いたい。

- ・検死に立ち会い、検案書を作成する医師等の待遇面での改善への取組の現状並びに政府の今後の対応及び計画について伺いたい。
- ・再チャレンジの一つとして冤罪の問題がある。米国では事件の遺留物の保存の義務付けや受刑者が DNA 鑑定を受ける権利を保障する法的整備が進められ服役中の受刑者が無罪となるケースが多く挙げられている。無罪者が社会復帰し再チャレンジできるようにすべきであり、また、冤罪の問題といった行政の失敗から学ぶことも大事であると思うが、稲田国務大臣の見解を伺いたい。

### 勝俣孝明君（自民）

- ・自殺総合対策大綱では、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す」とあるが、自殺対策における政府の具体的な取組状況について伺いたい。
- ・自殺者の遺族へのケアも重要と考えるが、どのような取組を行っているのか伺いたい。

### 西野弘一君（維新）

- ・クールジャパンにおける政府の現在までの取組と今後の展開について稲田国務大臣に伺いたい。
- ・自動二輪車の騒音対策について、交換用マフラー事前認証制度を導入して自動車検査を厳格化することよりも、罰則の強化を含めた取締りの徹底がより必要であると考えますが、古屋国家公安委員会委員長の見解を伺いたい。

### 小宮山泰子君（生活）

- ・死因究明等推進計画検討会が今月中に最終報告案を取りまとめる予定であり、また、死因究明等の推進に関する法律が本年 9 月に失効するが、今後の死因究明の取組やスケジュールについての古屋国務大臣の見解を伺いたい。